

化学物質の適正管理

グリーン規定に従い化学物質を適正に管理していきます。

2011年度のPRTR該当物質の排出量は2010年度より減少しましたが、移動量は増加しました。

排出量の減少はPRTR物質を含まない製品への置換、脱臭装置の稼働率アップなどの取り組みによります。

移動量の増加は、東日本大震災での応援製造による装置洗いの増加、原料タンク清掃時の廃棄物発生などによります。

◎今後の対応

2010年度より採用した算出方法で、継続して排出量を監視していき、該当物質の使用量の抑制や環境対応設備の新設などにより環境への排出を減らしていくよう努力を続けます。

荒川化学グループ PRTR対象物質の排出・移動量(主要11物質)

単位:kg(ただし、ダイオキシン類のみmg-TEQ)

PRTR対象物質	号番号	排出量			移動量		
		2009年度	2010年度	2011年度	2009年度	2010年度	2011年度
トルエン	300	8,286	5,428	4,321	79,423	88,808	33,890
エチルベンゼン	53	2,760	1,905	1,306	84,089	49,832	96,267
キシレン	80	2,751	1,908	1,306	84,089	49,832	96,267
アクリロニトリル	9	120	186	180	0	0	0
トリエチルアミン★	277	—	83	92	—	0	0
エピクロロヒドリン	65	357	64	68	0	0	0
スチレン	240	173	49	40	164	149	0
ノルマル-ヘキサン★	392	—	13	35	—	8,419	10,545
メタクリル酸メチル	420	196	109	23	0	0	0
フェノール	349	132	4	3	0	0	0
ホルムアルデヒド	411	940	2	2	0	0	4,433
その他*		70	71	46	38,605	10,819	12,044
合計		15,785	9,821	7,424	286,370	207,859	253,446
ダイオキシン類	243	0.23	0.000135	0.039	0.66	0.60	1.30

※ その他:アクリル酸、酢酸ビニル、4-ターシャリブチルフェノール★ など

★ 法改正による追加物質

●PCB廃棄物の管理

荒川化学グループでは、トランスなどの電気機器を「廃棄物処理法」に従って適正に保管・管理しています。また、「PCB処理特別措置法」に基づくPCB廃棄物の処理計画に沿って、適切に処理を進めていきます。

●環境に関わる事故

荒川化学グループでは、2011年度も環境保全活動を強力に推し進めた結果、環境に関わる事故は発生しませんでした。また、環境関連の訴訟や環境関連法規制による処罰などありませんでした。2012年度も環境関連の法律・条例などを遵守するとともに、環境保全活動をさらに徹底し、事故ゼロを目指していきます。

●グリーン規定※に基づく化学物質管理

荒川化学では、環境負荷を最小化し地球にやさしい企業活動を実現するため、化学物質管理基準を運用し、購入から廃棄まで企業活動の各場面での管理をより確実なものにしています。

※グリーン規定についてはP.10をご参照ください

Voice



電子材料事業部
研究開発第一部
長 長谷川 裕樹

荒川化学全製品で 製品評価リストの作成を開始

当社では新製品に法で義務づけられている製品安全データシート(MSDS)の他に製品評価リストも作成し、製品の法規制の確認や危険有害性の評価を実施しています。設計段階から原材料などの有害物質の含有まで把握し、製品の危険有害性情報をお客様へ提供することが目的です。情報の収集からそれら一つひとつの確認、総合での評価と大変地味で根気のいる作業ですから、慣れないうちはかなり時間がかかり苦労しました。しかし法規制や危険有害性情報に関して理解を深められますし、さまざまな製品知識を得られるので、今後の製品開発に大いに活かせると感じています。グループ全体で情報を共有し、新製品の開発も目標に頑張っていきたいと思っています。